

令和2年

第3回町議会定例会

# 行政報告

(令和2年9月2日)

幕別町長 飯田 晴義

令和2年第3回町議会定例会が開催されるに当たり、当面する町政の執行につきましてご報告をさせていただきます。

#### (功労者について)

本年も10月1日に124年目の開町記念日を迎えます。

偉大な先人たちが理想郷の実現を目指し、不屈の精神で本町発展の礎を築かれて以来、町民各位の限りない郷土愛により、本町が十勝の中核的な町として発展を続けておりますことに対し、深甚なる敬意と感謝を捧げるものであります。

例年、開町記念日に本町の功労者を顕彰させていただいておりますが、過日、各団体等から自治功労賞として3名、社会功労賞として9名の方々の推薦をいただいたところであります。

今後は、9月4日に開催されます表彰者選考委員会の答申を経て、表彰者の決定をさせていただく予定といたしております。

#### (普通交付税について)

次に、本年度の普通交付税について申し上げます。

7月31日、国は「令和2年度普通交付税大綱」に基づき、各自治体へ交付する普通交付税の総額を1兆5,926億円、前年度との比較では3,828億円、2.5%の増と決定いたしました。

本年度の算定にあつては、地方創生の推進として、地域社会の維持・再生に必要な取組に要する経費の財源措置として、新たに「地域社会再生事業費」が設けられたほか、幼児教育・保育の無償化及び会計年度任用職員制度の施行に伴う期末手当の支給等に要する経費等が措置されたところであります。

こうした状況の下、決定されました本町の普通交付税額は5億7,429万6千円で、前年度との対比では1億5,354万6千円、2.8%の増となりました。

なお、本年度の決定額と当初予算計上額の比較におきまして、約2,500万円の歳

入不足が生じたところでありますが、令和元年度繰越金及び特別交付税などの財源の状況を勘案しながら、今後の財政運営を慎重に進めてまいりたいと考えております。

#### **(農作物の作況について)**

次に、農作物の生育状況について申し上げます。

本年は、5月の降水量不足や6月下旬の日照不足の影響が心配されましたが、極端な高温の日が少なく、また、最低気温が高めに推移し地温が確保されたことから、全ての作物が順調に生育しているところであります。

9月1日現在の主な農作物の生育状況につきましては、秋まき小麦が、昨年より2日早い7月20日に収穫を始め、8月4日に終えたところであり、10アール当たりの粗原単収は、約10俵と平年並みの収量になる見込みと報告を受けております。

その他、馬鈴しょは2日早く生育し、いも数は少ない傾向ですが1個重は平年以上に大きく、てん菜は4日早く生育し根周も順調に肥大しており、大豆、小豆につきましても2日早く生育しており、着莢数が多く平年をやや上回る見込みであります。

また、飼料用作物の牧草、サイレージ用とうもろこしにつきましても、平年並みに生育しており、良質な粗飼料の確保が期待されるところであります。

いずれの作物におきましても、今後、収穫最盛期を迎えるにあたり、好天に恵まれ、農業者の皆さんの的確な管理により、農作業事故が無く、豊穰の秋を迎えられますことを心から願っております。

#### **(公共工事の発注状況について)**

次に、公共工事の発注状況について申し上げます。

8月末現在の公共工事の発注済額は、16億9,273万円で、発注率にいたしますと73.8%となっております。

現在までのところ、土木関係では、忠類24号線、公親線などの道路整備工事のほか、いなほ公園複合遊具更新工事を、水道関係では、道路整備工事に伴う配水管移設

工事のほか、老朽化に伴う配水管布設替工事や札内配水池発電機更新工事を、建築関係では、桂町西団地公営住宅建設工事のほか、白人小学校屋内運動場屋根改修工事などの発注を終えております。

このほか、防災行政無線システム整備工事、校内無線ネットワーク環境整備工事などの発注を終えております。

今後は、橋梁長寿命化修繕工事や配水管布設替工事等の発注を予定しており、安全に工事が進められるよう適切な工期設定と適時発注に努めてまいりたいと考えております。

#### **(防災行政無線の整備進捗状況について)**

次に、防災行政無線の整備進捗状況について申し上げます。

本年、6月開催の第2回臨時会で工事議決をいただきました、防災行政無線システム整備工事につきましては、無線局の免許申請に必要となる、各基地局における電波出力や電信感度などを実測する電波調査を行い、8月27日に北海道総合通信局に免許申請を行ったところであります。

現在、役場庁舎の親局設備や札内、豊岡及び忠類の中継基地局用無線設備並びにラジオ機能付き戸別受信機の製造を行っているところであり、来年1月下旬から戸別受信機の配布を行い、試験運用を経て、来年4月からの本格運用に備えることとしております。

#### **(高速情報通信網の整備について)**

次に、高速情報通信網の整備について申し上げます。

国では、新型コロナウイルス感染症への対応を進めるうえで、「新たな日常」に必要な情報通信基盤の整備を加速化するため、市町村における未整備地域の光ファイバー網の整備を支援すべく、この度、第2次補正予算により高度無線環境整備推進事業の予算規模を拡充したところであります。

本町における高速情報通信を行う上で必須となる光ファイバーの整備状況は、市街部を中心に進んでおりますが、農村部等の郊外地においては、採算性の面で通信事業者も整備に踏み切れない状況にあります。

しかしながら、農業等一次産業においては、情報通信技術を活用したスマート農業の実践による経営の高度化が求められているところであり、加えて、コロナ渦における教育の確保として、小・中学校のオンライン授業の実施等、高速情報通信の未整備地域の解消は、今後のまちづくりを行う観点からも大変重要であります。

このことから、町として、この度の国の補助事業を活用し、農村地域を含めた町内全域において、光ファイバーの未整備地域の解消を図るべく、民設民営方式による光ファイバー網の整備について、今会期中に所要の予算を提案する予定であります。

#### **(忠類地区のごみ処理について)**

次に、忠類地区のごみ処理について申し上げます。

忠類地区のごみ処理につきましては、南十勝複合事務組合において、広尾町、大樹町及び幕別町で共同処理を行っておりますが、中間処理施設の老朽化に伴い、令和9年度から可燃ごみの処理を十勝圏複合事務組合に移行することで、昨年8月に十勝圏複合事務組合に対し、共同処理参画の要請を行ったところであります。

また、町では、従前から忠類地区におけるごみ処理全般のあり方を検討してきたところであり、町内すべてのごみを1ヶ所で処理することで、ごみ処理に係る経費を大幅に軽減できること、ごみの分別区分や収集回数を統一することにより地域間の公平性を確保できることなどの理由から、移行時期を前倒しし、令和4年度から忠類地区のすべてのごみをくりりんセンターに移行する方針を定めた「忠類地区ごみ処理移行計画」を策定し、7月1日から31日までパブリックコメントを実施いたしましたが、寄せられた意見はありませんでした。

また、並行して、合わせて8日間11回にわたって地区別に住民説明会を開催し、地域の住民の皆さんに移行に係るメリット・デメリットを含め説明を行ってきたとこ

ろであります。

今後につきましては、令和4年度からの移行に向け、十勝圏複合事務組合と南十勝複合事務組合に対し、正式な手続きを進めてまいります。

#### (新型コロナウイルス感染症に対する対応等について)

次に、新型コロナウイルス感染症に対する対応等について申し上げます。

はじめに「特別定額給付金」の支給結果について申し上げます。

本町では、オンライン申請による受付を5月7日から、郵送による申請の受付を5月18日から開始し、申請書受理後においては、速やかな支給事務に努めてきたところであります。

これまでの間、広報紙や町ホームページ、SNS等を通じた周知のほか、7月22日現在において未申請であった152世帯には、申請手続の勧奨を郵送で行うとともに、ケアマネージャーや民生委員の皆さんには、高齢者世帯を中心に申請忘れを防ぐための声かけなどにご協力をいただいたところであります。

本町の申請期限は、国の「特別定額給付金給付事業実施要領」の定めにより、郵送申請の受付開始日から3か月後となる8月18日でありましたが、最終的な支給結果につきましては、支給件数が12,493世帯、支給金額は26億4,490万円であり、本町の対象世帯数12,537世帯に対する支給率は99.6%でありました。

なお、未支給となっている44世帯の内訳は、申請前にお亡くなりになった単身世帯が13世帯、支給辞退の意思表示をされた世帯が8世帯、未申請世帯が23世帯となっております。

次に、「頑張る事業者応援事業」、「飲食店・ホテル等緊急支援事業」及び「頑張る事業者応援強化事業」の支給状況について、8月31日までの累計になりますが、「頑張る事業者応援事業」は、申請書受理件数149件のうち支給済は146件、4,380万円となっており、「飲食店・ホテル等緊急支援事業」は、申請書受理件数75件のうち支給済は75件、750万円となっており、「頑張る事業者応援強化

事業」は、申請書受理件数7件のうち支給済は4件、200万円となっております。

なお、「頑張る事業者応援事業」及び「頑張る事業者応援強化事業」における現時点での未支給分についても、来週10日までに支給する予定となっております。

次に、「スーパープレミアム商品券発行事業」の最終販売実績についてであります。購入者は3,211人、15,000セットすべて完売となっており、そのうち、8月31日現在で販売枚数22万5,000枚のうち11万7,541枚、率にして52.2%が換金済みとなっており、5,877万500円の経済効果があったところでもあります。

次に、「町内宿泊施設宿泊費助成事業」であります。8月31日までの累計になりますが、予定宿泊数5,000泊に対し、宿泊実績及び予約受付分を合わせまして、幕別温泉パークホテル悠湯館が188人、199泊、十勝ナウマン温泉ホテルアルコが446人、446泊、十勝幕別温泉グランヴィリオホテルが190人、190泊の合計824人、835泊と、予定宿泊数から見るとまだ余裕がある状況となっております。

このことから、より多くの皆さんにご利用いただけるよう、これまで助成対象者を町民に限定しておりましたが、10月からは十勝管内在住者に範囲を拡大するとともに、情報誌等を活用し、引き続き事業の周知に努めてまいります。

次に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金について申し上げます。

5月開催の第1回臨時会における補正予算以降、同交付金に係る予算は、「頑張る事業者応援事業」や「小・中学校ICT環境整備事業」など30事業に対して4億3,941万5千円となっており、7月10日に公表されました本町における交付限度額6億4,982万円との差額2億1,040万5千円について、今後の「新しい生活様式」等への対応に係る事業へ活用すべく、現在、各種事業を精査中であり、交付対象事業、経費、事業実施期間などを記載した同交付金に係る実施計画の国への最終提出期限が今月30日となっておりますことから、本定例会会期中に関連予算を追加提案させていただく予定としております。

なお、新型コロナウイルス感染症対策につきましては、今後とも国や北海道など関係機関と連携を密にし、感染拡大防止の徹底と地域経済の回復に向け、全力を挙げて取り組んでまいります。

以上、当面する諸課題等につきまして、ご報告をさせていただきましたが、議員の皆様には、引き続き町政の執行に対しまして、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。行政報告とさせていただきます。